

■**稲葉正邦** 京都所司代, 老中。幕藩体制の崩壊に的確に対応し, 維新後, 神道に投じて大きな影響力をもった。

いなばまさくに

高島砲術・1834= 江戸二本松藩邸で, 藩主丹羽長富の七男に生まれる。

大塩平八郎乱1837= 3歳 :

順天堂始・1843= **9歳** :

阿部正弘首座1845=11歳 :

淀藩主稲葉正誼の養子となり,

・・・・・・1848=14歳 : 襲封し, 第12代淀藩主となった。

幼い頃から敬神の念あつく, 文芸に関心を寄せ和歌をよくしたが, そんな境遇に甘んじられない時代で, 雁之間詰を経て,

万次郎帰国・1852=**18歳** :

ペリー来航・1853=19歳 :

開国開港・1854=20歳 : 奏者番就任。

淀藩では譜代の城代家老田辺家が執政を取り仕切るならわしで, 正邦の代でも田辺権大夫が藩政を差配。急進・改革を唱えて, 穏健派の田辺氏とは意見を違えることが多かつたらしい。稲葉家は西国に睨みを利かせる畿内随一の藩であることから, 幕府内での昇進が早く,

桜田門外変・1860=26歳 :

遣欧使節・1861=**27歳** :

8月18日政変 1863=29歳 : *京都所司代となり, 京都守護職松平容保とともに<八月十八日の政変>に際し, 尊攘派の京都追放に尽力。また政変直後の大和五条の乱,

禁門の変・1864=30歳 : 武田耕雲斎らの筑波山挙兵などに対応し, 尊攘派を弾圧。將軍家茂の再度の入洛には護衛の大役を果たし, 老中となる。第1次長州征伐には, 藩士3百余名を出陣させ, 長州藩3家老の首級を自ら実検。

薩摩藩士密航1865=31歳 : 老中辞任。雁之間詰となる。

薩長同盟・1866=32歳 : 老中再任。第二次長州征伐への淀藩士派兵を決定するが, 田辺権大夫の強硬な反対によって断念, 対立は顕在化していったらしい。徳川慶喜が將軍に就任した後も, その庶政改革を補佐し,

大政奉還・1867=33歳 : 大政奉還に対しては將軍を中心とした政務の担当, 公家・武家および譜代・外様の別を廃して上下の議事所の開設による公議世論にもとづく国是の決定を主張。

明治維新・1868=34歳 : *鳥羽・伏見の戦では藩首脳部が密約成立により朝廷に恭順, 維新政府軍に味方して幕府軍に打撃を与える。自らの藩が藩主に関わりなく幕府に反旗を翻すという事態に遭遇, 複雑な立場に立たされ, 結局淀へ退去。新政府に対する恭順の姿勢を貫き, 分裂することもなかった。

戊辰戦争終・1869=35歳 : 版籍奉還により淀藩知事に就任したが,

初の日刊新聞1870=**36歳** :

廃藩置県・1871=37歳 : 廃藩置県のため, 藩知事退任。平田鉄胤に入門して神道界に身を投じ神道教導職となり,

明治6年政変 1873=39歳 : 三島神社宮司・大教正などを歴任,

佐賀の乱・1874=40歳 : 芝大門鎮座の芝大神宮祠官に就任,

初の民間工場1875=41歳 : *神道事務局を設立し, 初代管長就任。

三つの内乱 1876=42歳 : 神道事務局が3部に分けられると, その第3部管長を兼務,

大久保暗殺 1878=44歳 : 芝大神宮祠官を辞任。

沖縄県編入 1879=**45歳** :

明治14年政変1881=47歳 :

秩父事件・1884=50歳 : 子爵。

帝国大学始 1886=52歳 : 神道事務局を神道本局に改組し, 引き続き管長になるなど,

初の対等条約1888=**54歳** :

帝国憲法発布1889=55歳 :

明治初期の神道行政の整備に寄与して,

日清戦争始・1894=60歳 :

八幡製鉄始・1897=**63歳** :

政党内閣初 1898=64歳 : 没した。

著作に「妖幻夜話」「東閣遺草」など。